

CASBEE-新築(簡易版)2006年版

(仮称)ホテル京都八条東口

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2006年版

■評価ソフト: CASBEE-NCb_2006(v.1.2)

スコアシート		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質・性能						3.0
Q-1 室内環境			0.40			3.1
1 音環境		3.0	0.15	3.0	1.00	3.0
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.29	
1 1 暗騒音レベル		3.0	1.00	3.0	1.00	
1.2 遮音		4.0	0.40	3.1	0.50	
1 1 開口部遮音性能	客室扉に遮音性能T-4の扉を使用	4.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能		-	-	4.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	2.0	0.20	
1.3 吸音		1.0	0.20	3.0	0.21	
2 温熱環境		2.9	0.35	2.8	1.00	2.8
2.1 室温制御		2.8	0.50	2.6	0.50	
1 室温設定		3.0	0.30	3.0	0.60	
3 外皮性能		2.0	0.20	2.0	0.40	
4 ゾーン別制御性		3.0	0.50	-	-	
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境		2.7	0.25	3.3	1.00	3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.30	3.0	0.30	
1 昼光率		3.0	0.60	3.0	0.60	
2 方位別開口		-	-	-	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策		2.0	0.30	4.0	0.30	
2 昼光制御		2.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15	
1 照度		3.0	1.00	3.0	1.00	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境		3.5	0.25	3.8	1.00	3.7
4.1 発生源対策		4.0	0.50	4.0	0.63	
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆を全面的に使用している	4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気		3.0	0.30	3.6	0.38	
1 換気量		3.0	0.50	5.0	0.33	
2 自然換気性能		-	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-	
2 喫煙の制御		3.0	1.00	-	-	
Q-2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.1
1 機能性		4.4	0.40	2.5	1.00	3.3
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.60	1.5	0.60	
1 広さ・収納性		-	-	1.0	0.50	
2 高度情報通信設備対応		-	-	2.0	0.50	
3 バリアフリー計画	京都市バリアフリーの促進に関する条例に適合	4.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		5.0	0.40	4.0	0.40	
1 広さ感・景観		-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-	
3 内装計画	インテリアパースを作成している。	5.0	1.00	5.0	0.50	
2 耐用性・信頼性		2.8	0.31	-	-	2.8
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33	-	-	
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.29	-	-	
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.12	-	-	
3 配管・配線材の更新必要間隔		3.0	0.29	-	-	
4 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.29	-	-	
2.3 適切な更新		-	-	-	-	
1 屋上・屋根・外壁仕上げ材の更新		-	-	-	-	
2 配管・配線材の更新		-	-	-	-	
3 主要設備機器の更新		-	-	-	-	
2.4 信頼性		2.2	0.19	-	-	
1 空調・換気設備		1.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3 電気設備		3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		1.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.1	0.29	3.0	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり				-	3.0	0.50	
	1	階高のゆとり			3.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ		-	3.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり			-	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性		3.1	1.00			
	1	空調配管の更新性	3.0	0.17		-	
	2	給排水管の更新性	4.0	0.17		-	
	3	電気配線の更新性	3.0	0.11		-	
	4	通信配線の更新性	3.0	0.11		-	
	5	設備機器の更新性	3.0	0.22		-	
	6	バックアップスペース	3.0	0.22		-	
Q-3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			4.0	0.40		-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30		-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50		-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		-	
	LR 建築物の環境負荷低減性						
LR-1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.0
1 建物の熱負荷抑制			1.0	0.30		-	1.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20		-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用			-	-		-	
	2.2 自然エネルギーの変換利用		3.0	1.00		-	
	3 設備システムの高効率化			5.0	0.30		-
4 効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
4.1 モニタリング			3.0	0.50		-	
	4.2 運用管理体制		3.0	0.50		-	
	LR-2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-
1 水資源保護			2.2	0.15		-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40		-	
	1.2 雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60		-	
	1	雨水利用システム	3.0	0.67		-	
	2	雑排水利用システム	3.0	0.33		-	
	2 低環境負荷材			2.9	0.85		-
2.1 資源の再利用効率			2.3	0.35		-	
	1	躯体材料の再利用効率	3.0	0.67		-	
	2	非構造材料の再利用効率	1.0	0.33		-	
	2.2 持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.04		-	
	2.3 有害物質を含まない材料		4.0	0.08		-	
	2.4 既存建築躯体などの再利用		3.0	0.18		-	
	2.5 部材の再利用可能性		3.0	0.18		-	
	2.6 フロン・ハロンの回避		3.3	0.18		-	
	1	消火剤	4.0	0.33		-	
	2	断熱材	3.0	0.33		-	
	3	冷媒	3.0	0.33		-	
LR-3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.6
1 大気汚染防止			3.0	0.10		-	3.0
2 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.10		-	3.0
2.1 騒音			3.0	0.33		-	
	2.2 振動		3.0	0.33		-	
	2.3 悪臭		3.0	0.33		-	
3 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.15		-	3.0
3.1 風害の抑制			3.0	0.70		-	
	3.2 日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
4 光害の抑制			4.0	0.10		-	4.0
5 温熱環境悪化の改善			1.0	0.30		-	1.0
6 地域インフラへの負荷抑制			3.6	0.25		-	3.6
6.1 雨水処理負荷抑制			-	-		-	
	6.2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.33		-	
	6.3 交通負荷抑制		5.0	0.33		-	
	6.4 廃棄物処理負荷		3.0	0.33		-	

■ LR-1 用途別点表		ホテル	-	-	-	面積按分 総合スコア
		6743 m ²	-	-	-	
1 建物の熱負荷抑制		3.0	-	-	-	3.0
3 設備システムの	ERRによる評価	5.0	-	-	-	5.0
高効率化	個別設備による評価	-	-	-	-	
3.1 空調設備		5.0	-	-	-	-
3.2 換気設備		5.0	-	-	-	-
3.3 照明設備		5.0	-	-	-	-
3.4 給湯設備		4.0	-	-	-	-
3.5 昇降機設備		4.0	-	-	-	-